平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	ゼミナールⅡB(SeminarⅡB) 【坂口ゼミ】			授業コード	E002577
担当教員名	坂口　昌宏			科目ナンバリングコード	E21202
配当学年	2	開講期	後期		
必修・選択区分	必修	単位数	2		
履修上の注意または履修条件					
受講心得	ゼミは発表・討論を通じて学ぶ場であり，自分の考えていることを相手に正確に伝えることを意識的に行っていきます。そのためにも問題を明確化するとともに，積極的な参加を期待します。				
教科書					
参考文献及び指定図書	その都度紹介します。				
関連科目	社会福祉原論，高齢者福祉論，障害者福祉論，児童福祉論，地域福祉論，社会保障論など				

授業の目的	（ゼミナールⅡA・ⅡB共通） 本講義では，PBL(Problem/Project Based Larning)を活用し，地域社会に起きている課題についてグループで「目標設定」→情報収集→課題整理→解決策立案→報告(発表)→振り返りを1サイクルとしてグループ活動を行 PBLを通じて，社会人基礎力における「チームで働く力」及び「前に踏み出す力」の修得を目指す。
授業の概要	ゼミナールⅡでは，様々な地域課題について，その解決策についてグループで検討し，発表を行い，社会人基礎力の修得を目指ます。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 ： オリエンテーション 本講義の目的および内容等ついて説明します。また，履修状況の確認を行う	予習：講義の目的等についてシラバスを確認する(1h) 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる(1h)
第 2 週 ： PBL(Ploblem Based Larning)①－1 PBLを実施するにあたってのグループ分け，課題の説明を行い，現時点でのチーム内での情報，課題についての認識を共有する	予習：PBL意義・目的について調べる(1h) 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる(1h)
第 3 週 ： PBL①－2 設定課題について，チームで分担し情報収集を行い，課題を共有する	予習：課題についての情報収集を行う(1h) 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる(1h)

第 4 週 ： PBL①－3 第3週目の情報収集・課題整理をもとに，解題解決に向けた方策について考える	予習：グループで出された課題を見直すとともに，解決策について考える（1h） 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる（1h）
第 5 週 ： PBL①－4 第4週目の解決策検討を踏まえ，その実現可能性や波及効果等について検討する。	予習：解決策についてより具体的に考える（1h） 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる（1h）
第 6 週 ： PBL①－5 第2週から第5週で調べ，まとめた内容についてグループ発表を行う。 ※5グループに分け発表会を行う。その中で代表を2チーム選出	予習：発表の担当部分について原稿作成等発表準備を行う（1h） 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる（1h）
第 7 週 ： PBL①－6 第7週で各グループから選出された代表チームによる発表会	予習：前回の発表会の振り返りを行う（1h） 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる（1h）
第 8 週 ： PBL①振り返り PBL①でのチーム目標の達成度，チーム内での役割などについて振り返りを行う	予習：チーム目標，チーム内での役割について確認する（1h） 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる（1h）
第 9 週 ： PBL②－1 PBLを実施するにあたってのグループ分け，課題の説明を行い，現時点でのチーム内での情報，課題についての認識を共有する	予習：PBL意義・目的について調べる（1h） 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる（1h）
第 10 週 ： PBL②－2 設定課題について，チームで分担し情報収集を行い，課題を共有する	予習：課題についての情報収集を行う（1h） 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる（1h）
第１１週： PBL②－3	予習：グループで出された課題を見直すとともに，解決策について考える（1h） 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる（1h）

第10週目の情報収集・課題整理をもとに，解題解決に向けた方策について考える	
第１２週：PBL②－４ 第11週目の解決策検討を踏まえ，その実現可能性や波及効果等について検討する。	予習：解決策についてより具体的に考える（1h） 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる（1h）
第１３週：PBL②－５ 第7週から第12週で調べ，まとめた内容についてグループ発表を行う。 ※5グループに分け発表会を行う。その中で代表を2チーム選出	予習：発表の担当部分について原稿作成等発表準備を行う（1h） 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる（1h）
第１４週：PBL②－６ 第13週で各グループから選出された代表チームによる発表会	予習：前回の発表会の振り返りを行う（1h） 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる（1h）
第１５週：PBL②振り返り PBL②でのチーム目標の達成度，チーム内での役割などについて振り返りを行う	予習：チーム目標，チーム内での役割について確認する（1h） 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる（1h）

授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
備考		

〇単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	グループワークに積極的に参加することができる。
【知識・理解】	PBLに課題解決に必要な知識について理解している。
【技能・表現・コミュニケーション】	グループワークにおいて，自分の考え・意見をメンバーに伝えることができる。
【思考・判断・創造】	PBLにおいて，現状分析を踏まえ，適切な解決策を提案することができる。

〇成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	**期末試験・中間確認等（テスト）**	**レポート・作品等（提出物）**	**発表・その他（無形成果）**	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		**35点**		

【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。		**30点**	
【技能・表現・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		**35点**	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。			

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

〇配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安

成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 （提出物）	講義でのレポートおよび講義への参加状況をもとに総合的に判断します。 ［Sレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 ［Aレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 ［Bレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 ［Cレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。
発表・その他 （無形成果）	講義でのプレゼンテーション（PBL発表）をもとに総合的に判断します。 ［Sレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 ［Aレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 ［Bレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 ［Cレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。